

# 千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信 (No.2)

2005.6.20

## もくじ

1. 5 月度 (第 3 回) ボランティア活動の報告
2. 5 月の演習林の植物 (花と実など)
3. 7 月度活動: 夏の森林教室のご案内
4. 7 月度活動 (臨時): 高校生のための森と海のゼミナールのご案内
5. 8 月度活動: 歩道修理と苗畑除草のご案内

## 5 月度 (第 3 回) ボランティア活動報告 ～ 造林研修と苗の測定 ～

ボランティア 西山康利

平成 17 年 5 月 23 日より 24 日まで、今期第 3 回目のボランティア活動に参加いたしました。前回 2 回続けて参加しましたが、天候に恵まれず第 1 回目の春の一般公開は季節外れの雷雨予報で見学者が少なく、2 回目は今迄に経験した事がないような 2 日間連続の悪天候でした。自分としては晴男と自認していたので今回は天候が一番心配でした。予報はあまり良くなかったのですが予報に反して 2 日間とも晴天となり、雨男と言われること無く安心しました。

最初の計画では「造林研修会」の聴講・研修という日帰りの計画でしたが、特にお願いして次の日も作業をすることとなりました。

1 日目は「造林研修会」の聴講で午後 1 時の集合でしたが岩崎会長、石川事務局長他皆さん早めに集まっておりました。



研修会場の清澄講義室

通常このような研修会を聴講出来ることはボランティアでもなければ経験できない事で、皆楽しみにしている様子が伺えその中にも緊張感を感じました。

研修報告項目は 11 項目あり 4 時間で消化しなければならずかなりハードになるなと思っておりましたが、手際良く消化されてほぼ時間どおりに消化されたことは今までの経験の賜物と感じました。研修会で感じたことを述べて見たいと

思います。

全体を通して感じたことは、表舞台に出てあまり脚光を浴びる事が少ないと思われる研究を地道に続けられ、地球環境悪化防止に精一杯立ち向かっておられる姿勢を真摯に受け止める事ができました。

自分としては三十数年間「人・物・金」で悪戦苦闘して来ましたので、とても新鮮に受け止める事ができました。

内容は、

1. 「スギ・ヒノキ植栽地におけるニホンジカによる食害に関する研究」

生き物相手が無闇に殺戮することも出来ず、その中で苗をどのように成長させるか悪戦苦闘の状態が良く理解できました。ハイテク機器に費用を注ぎ込むより今まである物を利用し製作、設置等はボランティア会などをもっと利用した方が得策ではないでしょうか。

2. 「ニタ間川におけるトゲナシヌマエビの生息環境に関する研究」

ボランティアの世話役でした村川さんがこのような研究をされていたとはお付き合いして一年以上になりますが知りませんでした。

淡水に棲むエビは私の小さいとき一杯おりまして「おかず」として食べたものです。エビは一番弱い生物なのでこれらが生息できるような環境を整備すれば地球は安泰だと感じました。村川さんお手伝いすることあればいつでも声を掛けてください。懇親会でも話が出ましたから。

3. 「抵抗性マツ同士の人工交配による遺伝的抵抗性評価」

「房総半島におけるヒメコマツの保全」

病虫害によるマツ枯、スギの花粉対策、ヒメコマツの保全とそれぞれ社会的にも大きな関心事ではありますが、その対策としてご苦労されていることは殆ど知られていないと思います。少しずつ成果が見られるとのこと期待したいと思います。

4. 「千葉県木材市場見学報告」

一番身近に感じた報告でした。自分も東金市にある「千葉県木材市場」の別館で「チェーンソー」と「刈払い機」の安全教育実習を受けたことがあり、その際に見学させていただいたことがあります。今回の報告では演習林の木材が「競り」に掛けられ売買されたとのことで会場では一番活発に意見交換がされましたが、今後、法人化された演習林としては大きな関心事になって行く様に感じました。

5. 「J - S T I M S による時間情報を含んだ森林管理システム」

演習林の林相図は10年ごとに見直すと聞いていたので、そろそろ対応の時期だなと思っていました。今回のシステムにより、演習林の林相の状態が10年ごとの点の資料から連続した線または面の資料になることはすばらしいことだと思いました。

これらの資料を正確につくるには、単にコンピュータのシステムをあてはめるだけではだめで地道に集めた実際の資料の集積が必要だと思われます。

新しい試みで完成が楽しみ、今後、報告会等があれば是非見せていただきたいと思います。

最後にボランティア会の挨拶の時間をとっていただきましたので、岩崎会長より、我々の方針と協力のお礼をのべさせてもらいました。

他にも育林計画、海外研修報告、モウソウチクや大形哺乳類とヤマビルの関係など色々と盛りだくさんな報告があり興味深く聞かせていただきました。このような機会を作っていただき本当に感謝しております。

学生宿舎食堂ホールで開催された夕方の懇親会には参加ボランティア7名が参加させていただき、職員の方達とお酒の席でもチームワークの良さががでて和気あいあいに進められ時の経つ



岩崎会長からの挨拶



苗木測定の様子

つのも忘れたほどでした。又夜の2次会はボランティア同士で今後のことについて話し合い親交を深めました。女性の恵さん、相川さんを夜中まで付き合わせてしまったこと反省しております。

2日目は「苗木の成長測定」をおこないます。

絶好の作業日とで朝から張り切って宿舎周辺の散策をされている方も多かったようです。酒巻さんは都合で昨日変更されましたが、参加者は岩崎、石川、藤田（貴）、恵、相川、西山の6名で職員は大塚・福岡さんです。

活動の場所は郷田倉（27林班C<sub>4</sub>小班）でスギ・ヒノキの成長測定です。

朝の9時集合し、打合せをした後、公用車で途中札郷作業所で作業用具を準備してから現地に向いました。防護柵と防護ネットによる防護方法の異なる区域があり2グループに分かれて成長測定をしました。測定



ウサギの侵入口

項目は 樹高 地際直径 胸高直径 鹿の被害レベルと被害程度でした。私は始めてでしたが石川さん達は前回の活動で経験されており、手際よく進み午前中に済みました。

防護柵の中とは言え苗木の成長にはいろいろ被害があり特に「うさぎ」の被害にはびっくりしました。大塚さんが侵入口を探しましたが苗木までの獣道がきちっと出来ているのにも驚きでした。この場所は千葉演習林の3大美林の一つで樹齢100年を越えた杉の大木に囲まれており、涼しく、防護柵内の植物は周辺と異なり伸び伸びと成長しているので気持ち良かった。大塚さんが自生している「サイハイラン」を教えてくれたが移植栽培は難しいとのことでした。こんな一幕も嬉しいです。

昼食は七里川の川原で食べました。「かじか」が鳴き、新緑が眩しい川辺で宿舎で作ってくれた大盛りの弁当も大変美味しくいただきました。



生い茂るタケの中で苗木測定

この場所は元々竹林だったようで、竹の子も含めてたくさん竹が生い茂っており苗木の成長に影響があると心配しましたが、まだやわらかいので早めに刈り取れば良いと思いました。来月の作業になりそうです。成長測定も無事終了し、帰路「マルバウツギ」や「サルトリイバラ」等々いろいろな植物の名前を教えてください勉強になりました。

帰路、札郷作業所に立ち寄り、用具を片付け周辺を散策し、昨日報告にあった「ヒメコマツ」の接木状況等を見て生育状況も確認できました。お茶等用意していただき感謝しております。

宿舎に帰り打合せ後、解散しそれぞれ帰途に付きました。

今回は研究報告を聞き職員の方々的一面を垣間見る事が出来且つ親交を温める事が出来た充実した2日間でした。

演習林の職員の方々には大変お世話になりお礼を申し上げます。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

午後は少し上流に移動し、川台(17林班D<sub>5</sub>小班)のスギ・ヒノキ・マツの成長測定でした。この場所は今年植え付けた若い苗木で、1メートル以内の背丈なので、防護柵が無ければ全滅になるはず。そういえば柵の外はほとんど草が無い状態でした。測定は午前中と変わらず慣れて来たのですぐに終わりました。

この場所は元々竹林だ

## 5月の演習林の植物（花と実など）

ボランティア 石川 輝雄

5月の千葉演習林は、1年中で最も若葉がきれいで花の多い季節です。5月14日に活動した場所で目に付いた花や実などの植物をかきあげてみました。

一部の写真はホームページにのせましたのでご覧ください。

\* 清澄宿舎：セッコク（花）、マルバチシャノキ（つぼみ）、マルバウツギ（花）

\* 郷田倉：サイハイラン（花）、ハナミョウガ（花）、フタリシズカ（花）、イズセンリヨウ（花・実）、サンシヨウ（花・実）、ウリノキ（つぼみ）、ヤブレガサ（葉）

\* 札郷：ジャケツイバラ（花）

\* 川台：サルナシ（花）、サルトリイバラ（実）、ハコネウツギ（花）、ヒメハギ（花）、ハンショウヅル（花）、ノイバラ（花）、ミズキ（花）、ガマズミ（花）、マユミ（花）、イボタノキ（花）



セッコク



サイハイラン



ハンショウヅル



マルバウツギ

# 7 月度 活動

## 夏の森林教室 ボランティアのご案内

「夏の森林教室」のボランティアを募集します。参加者と楽しい時間を過ごしませんか？  
なお、対象はリハーサルにも参加できる人とさせていただきます。  
内容は別紙の案内をご覧ください。(注：好評のため一般参加申込は締め切りました。)

**日 時** リハーサル：平成 17 年 **7 月 7** 日(木) 雨天の場合は 7 月 8 日(金) に順延

本 番 : **7 月 18** 日(祝)(日帰り)

**集 合** リハーサル：決まり次第、参加者に連絡します。半日の予定です。

本 番 : 清澄作業所 9:00 または黒滝 9:30 (予定)

**内 容** 参加者の引率、自然解説、写真撮影など

**参加費** なし

**持ち物** 昼食、飲み物、雨具、タオル、ゴミ袋、筆記用具、リュック、敷物、軍手、保険証のコピー、常備薬、会員証など

**服 装** 長袖長ズボンの汚れても良い服装、履きなれた靴、帽子、

**受付期間** 6 月 22 日(水) ~ 7 月 5 日(火)(6/24 ~ 26 は事務局不在にします)

**申込方法** 電話、FAX、E-mail のいずれかでお申込下さい。

**申込、お問い合わせ先**

千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局

石川 輝雄(連絡先は活動要項を参照)

# 7 月度 活動 (臨時)

## 高校生のための森と海のゼミナール

### ボランティアのご案内

「高校生のための森と海のゼミナール」が、東大千葉演習林と千葉大学海洋バイオシステム研究センター（鴨川市小湊）において、高校生を対象に行われます。この際、千葉演習林の職員 5 名ほどで対応しますが、活動の補助をするボランティアが必要です。様々な実習や試験地見学、講義等があるので、千葉演習林を知るためにもよい機会になると思います。皆様奮ってご参加ください！内容は別紙募集案内をご覧ください。また、まだ参加者の枠がありますのでお近くの高校生に声をかけてくださるようお願いいたします。

**日 時** 平成 17 年 **7 月 26 日** (火) ~ **28 日** (木) (2 泊 3 日、部分参加も応相談)

**集 合** JR 安房鴨川駅の高速バスターミナルまたは JR 久留里線上総亀山駅 26 日 13:00、  
または清澄作業所に 26 日 13:20 (車の場合)  
途中参加の場合はご相談ください。

**内 容** 活動の補助、写真撮影など。

**定 員** 3 名程度 (女性が 1 名以上いると望ましい)

**宿泊場所** 26 日 札郷学生宿舎 (0439-39-3122) 27 日 清澄学生宿舎 (04-7094-1990)

**参加費** 全参加: 4,140 円 (施設使用料 札郷宿舎 200 円、清澄宿舎 540 円、食費 6 食分)  
部分参加は応相談

**持ち物** 1 日目の弁当、飲み物、筆記用具、野外活動ができる服装、地下足袋か布を巻いた長靴 (ヤマビル対策として)、雨具、洗面用具、寝巻、リュック、懐中電灯、虫除けスプレー、ばんそうこう、健康保険証のコピー、常備薬、会員証など

**キャンセル** なるべく早めに、宿泊施設の都合上遅くとも 2 日前までご連絡下さい。

**受付期間** 6 月 22 日 (水) ~ 7 月 15 日 (金) (6/24 ~ 26 は事務局不在です)

**申込方法** 電話、FAX、E-mail のいずれか

**申込、お問い合わせ先**

千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局 石川 輝雄 (連絡先は活動要項を参照)

# 8 月度 定例活動のご案内

## 歩道修理・苗畑除草

- 日 時** 平成 17 年 **8 月 25 日** (木) ~ **26 日** (金) (宿泊、1 日のみの参加も可)
- 集 合** 清澄作業所 25 日 9:40
- 解 散** 清澄作業所 26 日 16:00 頃
- 内 容** 25 日 歩道修理 26 日 苗畑除草 (天候や都合により変更する場合があります)
- 作業場所** 未定 (決まり次第、参加者に連絡します)
- 宿泊場所** 清澄学生宿舎 (04-7094-1990)
- 宿 泊 費** 2,240 円 (施設使用料 540 円、夕食 900 円、朝食 400 円、昼食 400 円)
- 持 ち 物** 1 日目の昼食、飲み物、野外活動ができる服装、靴 (登山靴などしっかりしたものや地下足袋)、滑り止めつき軍手、タオル、雨具、リュック、敷物、保険証のコピー、常備薬、マイカップ、宿泊用の道具、会員証、帽子、ゴム手袋など
- 定 員** 9 名程度 (原則として申込先着順)
- 受付期間** 7 月 29 日 (木) ~ 8 月 11 日 (木)
- 申込方法** 電話、FAX、E-mail のいずれかでお申込下さい。
- ご 注 意** 熱中症にならないよう、こまめに水分をとりましょう。  
除草では日が照り付けますので、帽子・首巻タオルなど直射日光に当たらないような装備を忘れずに。

**キャンセル** なるべく早めに、宿泊の都合のため遅くとも 2 日前までご連絡下さい。

### 申込、お問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies  
事務局 石川 輝雄 宛  
(連絡先は活動要項を参照)  
参加には年度ごとの会員登録が必要になります。

---

千葉演習林ボランティア会 Abies通信 No.2 2005/ 6/20 発行

ホームページ <http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/chiba/volunteer.htm>

\* 事務局 〒264-0032 千葉県千葉市若葉区みつわ台 3-1-2-102 石川輝雄

\* 東京大学千葉演習林 〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770 TEL:04-7094-0621



# 夏の森林教室のご案内

## 東京大学千葉演習林・夏の森林教室

～ 学ぼう！房総の自然 「森の落とし物(めぐみ)」 ～

東京大学千葉演習林では、季節ごとに演習林を公開し、演習林の豊かな自然を皆様に楽しんでいただいております。この一環として「夏の森林教室」を開催します。

「夏の森林教室」では、房総の秘境といわれる千葉演習林で、散策しながら森林や自然について学びます。森林には沢山の落とし物(めぐみ)があり、意外な落とし物(めぐみ)が見つかるかも知れません！？透きとおる空気の中で深呼吸してみませんか？

下記の要領で開催致しますので奮ってご応募ください。

### 記

開催日：平成17年7月18日(祝日)日帰り・小雨決行

集合場所：JR 外房線安房天津駅前(午前9時15分)

(時間) JR 安房鴨川駅西口前(午前9時25分)

JR 久留里線上総亀山駅前(午前10時15分)

募集人数：60名(1団体5名まで 先着順)

参加費：1名500円(保険料、資料代など)

応募方法：各人の氏名(代表者に 印、小学生以下は保護者同伴)・年齢・住所・電話番号・

集合場所を明記の上、ハガキ、FAX・E-mailのいずれかで応募

申込み先：東大演習林森林教室係

〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770

FAX 04-7094-2321

E-mail [chiba@uf.a.u-tokyo.ac.jp](mailto:chiba@uf.a.u-tokyo.ac.jp)

応募締切：6月30日(木)当日消印有効

問合せ先：東京大学千葉演習林天津事務所 (電話 04-7094-0621)

ホームページ：<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/chiba/>でも案内が見られます。



高校生参加者募集の案内です。

<http://www17.ocn.ne.jp/~umizemi/>

のホームページからは、案内と以前の実施報告が見られます。

お近くに高校生がいたらぜひお誘いください！

## 参加者募集

### 高校生のための森と海のゼミナール「自然の中で考える環境問題と生物多様性」

きれいな空気や水、キノコや木材などの林産物、レクリエーションの場など、森林は、私たちに有形無形の恩恵をもたらしてくれます。巨大なモミヤツガの古木、森の動物たち、驚きと多様性に満ちた森林にアプローチしてみよう。私たち生命が発生した海、その海の中は、一体、どのようになっているのでしょうか。複雑に絡み合った生態系、そこで生きる海辺の生きものたち、そして人と自然との関わりを房総の森と海で考えてみませんか？環境の時代と言われる 21 世紀を生きるヒントが見つかるかも！？

このプログラムは合宿方式で、森林の探索や海洋実習を通して、自然の仕組みや役割を理解し、自然界の生物の多様性を学ぶチャンスを提供します。大学教員と寝食をともにしながら、豊かな自然の中に身を置いて環境問題や生命の本質について語り合しましょう！

なお、このゼミナールは「子どもゆめ基金」から助成を受けて開催いたします。

**開催場所** 東京大学科学の森教育研究センター千葉演習林、  
千葉大学海洋バイオシステム研究センター

**開催日時** 平成 17 年 7 月 26 日（火）～28 日（木） 2 泊 3 日

**集合解散場所** JR 外房線安房鴨川駅または JR 久留里線上総亀山駅

7 月 26 日 13 時集合（昼食を済ませてくること）、7 月 28 日 13 時頃解散

**参加費用** 5000 円 宿泊費と食費 6 食分、集合時に集めます

**対 象** 高校生、定員 20 名（先着順）

**申し込み方法** 氏名、住所、生年月日、性別、所属高校、学年、保護者連絡先、本人連絡先（携帯電話等）、靴のサイズ、希望集合箇所を書いて下記申し込み先まで、郵送・ファクシミリ・E - メールいずれも可

**申し込み締切** 平成 17 年 7 月 15 日（定員に達した時点で締切ることがあります）

#### 申し込み先・問い合わせ先

高校生のための森と海のゼミナール実行委員会 代表者 山本 博一

〒299 - 5503 千葉県鴨川市天津 770

東京大学大学院農学生命科学研究科附属

科学の森教育研究センター千葉演習林

TEL 04-7094-0621

FAX 04-7094-2321

E-mail [chiba@uf.a.u-tokyo.ac.jp](mailto:chiba@uf.a.u-tokyo.ac.jp)

## スケジュール

### 平成 17 年 7 月 26 日 (火)

- 13 時 JR 外房線安房鴨川駅または JR 久留里線上総亀山駅に集合、バスで移動  
14 時 札郷学生宿舎到着 (受付、参加費徴収、着替え、参加者自己紹介)  
14 時 30 分 ~ 17 時 「さまざまな森林の中を歩こう」里山林、見本林、苗畑  
モミ・ツガ原生林 110 年生のスギ人工林、つりはし、七里川  
17 時 ~ 19 時 夕食・入浴・休息  
19 時 ~ 20 時 野外講義「野生生物との共生」、「ヒメコマツの保護」  
20 時 ~ 21 時 「夜の森の動物を見てみよう」ニホンジカの夜間観察  
22 時 消灯・就寝、東京大学札郷学生宿舎泊 (Tel 0439-39-3122, 携帯圏外)

### 7 月 27 日 (水)

- 7 時 30 分 ~ 8 時 30 分 朝食・着替え  
9 時 ~ 10 時 「森林を測ろう」樹木の身体測定 (直径・樹高) 間伐、円板採取  
10 時 30 分 ~ 11 時 「炭窯を見てみよう」  
11 時 30 分 ~ 12 時 「森に降った雨はどうなるの」対照流域法試験地  
12 時 ~ 13 時 「清流に棲む生き物たち」川の生態調査と昼食  
13 時 ~ 14 時 「森づくりを考えよう」苗木の育成、スギ品種成長比較試験地  
14 時 ~ 14 時 30 分 常緑広葉樹天然林、針葉樹人工植栽林の見学  
15 時 ~ 17 時 「海辺の生き物たち」千葉大学海洋バイオシステム研究センター  
17 時 ~ 19 時 夕食・入浴・休息  
19 時 ~ 19 時 30 分 「森林を測ろう」の測定結果とりまとめ  
19 時 30 分 ~ 21 時 講義 「森の造り方」、「房総の自然」、「森林と人の関わり」  
22 時 消灯・就寝、東京大学清澄学生宿舎泊 (Tel 0470-94-1990)

### 7 月 28 日 (木)

- 7 時 30 分 ~ 8 時 30 分 朝食・着替え・森林博物資料館見学  
9 時 ~ 11 時 「海のプランクトンたち」千葉大学海洋バイオシステム研究センター  
11 時 30 分 ~ 修了式・感想発表  
12 時 昼食後解散、安房小湊駅、上総亀山駅までバスで移動

東京大学科学の森教育研究センター千葉演習林のホームページ

<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/chiba/>

千葉大学海洋バイオシステム研究センターのホームページ

<http://www-es.s.chiba-u.ac.jp/kominato/>